

3. 観光商工部

沖縄特別自由貿易地域賃貸工場（第7期）

施設概要

所在地：うるま市字洲崎
工期：平成20年8月～平成20年12月（第1工区）
平成20年9月～平成21年3月（第2工区）
構造・階数：鉄骨造 平屋建
敷地面積：4,707.78㎡（第1工区）、3,456.95㎡（第2工区）
延べ面積：1,500.00㎡（第1工区）、1,000.03㎡（第2工区）

計画概要

沖縄特別自由貿易地域賃貸工場（第7期）新築工事として建築された賃貸工場である。
平成20年度は22号棟（1,500㎡タイプ）と23号棟（1,000㎡タイプ）を整備した。
賃貸工場は、沖縄特別自由貿易地域への企業集積を促進するため、立地企業の初期投資の軽減や早期創業を支援する「受皿施設」として整備した。
平成11年度から整備を初め、平成20年度までに計画していた23棟すべての賃貸工場を完了した。
仕様は鉄骨造平屋建てで、1,000㎡タイプが4棟、1,500㎡タイプが17棟、2,000㎡タイプが2棟となっている。



22号棟 外観



22号棟 内観



賃貸工場 空撮

4. 土木建築部

（1）名護中央公園せせらぎ広場・体験学習施設

施設概要

所在地：名護市字名護
工期：平成20年12月～平成21年3月
構造・階数：鉄筋コンクリート造 平屋建
敷地面積：11,226.00㎡
延べ面積：34.42㎡

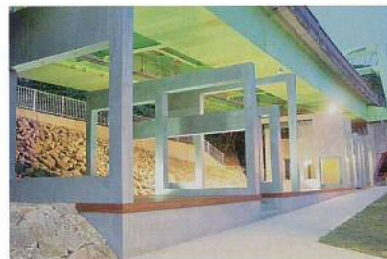
設計主旨

高架橋の下に建つ「体験学習施設」は、上部の橋が大きな屋根の役割を果たすため、屋根の無い構造となっている。

また、床全体をデッキ敷きとすることで広がりを持たせる中、Design Wall（門型フレーム）で仕切ること、多月途に使うことができるスペース（空間）を演出した。



外観



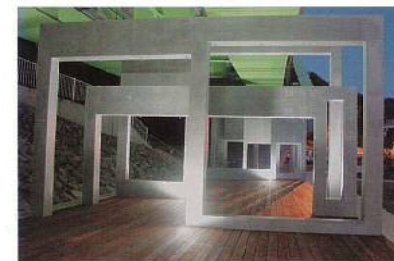
外観（前面より）



会議室



ステージ



Design Wall

4. 土木建築部（住宅課）

（2）県営浜川団地（第2期）

施設概要

所在地：糸満市兼城
工期：平成19年3月～平成20年6月（第2期）
構造・階数：鉄筋コンクリート造 11階建
敷地面積：17,889.06㎡
延べ面積：8,749.39㎡

計画概要

昭和49年度に建設された中層5階建ての県営浜川団地は、施設の老朽化による危険度の解消と居住水準の向上の為に建替工事を行った。

建替工事は2期に渡って建設され、1期工事は平成18年度に12階建120戸が完成し、2期工事は平成20年度に11階建100戸の高層住宅が完成した。

設計のコンセプトとして、近隣街並みとの調和及びユニバーサルデザインに基づき、長寿社会に対応した施設計画を図るとともに、これまで培われたコミュニティーの維持・発展に努め、地域から愛される団地として計画した。



外観



アプローチ



全体完成図

5. 教育庁

（1）名護高校寄宿舎

施設概要

所在地：名護市大西
地域・地区：第1種低層住居専用地域・第2種低層住居専用地域
工期：平成20年1月～平成20年8月
建物用途：寄宿舎
構造・階数：鉄筋コンクリート造 2階建
敷地面積：2,678.61㎡
延べ面積：1,023.91㎡



中庭より望む

設計主旨

名護高校寄宿舎は、既設建物が約30年の年月を経て老朽化し、改築する計画となった。

本寄宿舎は、中庭を中心に4棟の建物を東西南北に配置させたコの字型で、外廊下タイプの回廊型とし、通風・換気に配慮した自然に溶け込んだ安らぎのある施設である。

2人部屋の寮居室36室と身体障害者対応居室1室をはじめ、食堂・厨房・学習室等を備え、事務室・舎監室・玄関ホールを配置し、73人の寮生が入居可能な施設である。



外観

(2) 宜野座高校校舎



外観

施設概要

所在地：宜野座村字宜野座
 地域・地区：指定なし
 工期：平成19年2月～平成20年10月
 建物用途：学校校舎
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 3階建
 敷地面積：15,685.91㎡
 延べ面積：2,591㎡



普通教室

設計主旨

宜野座高校は、昭和21年に創設され、地域に根ざした学校としてこれまで数多くの人材を輩出し、地域社会や教育に大きな役割を担ってきた。

しかし、近年の校舎老朽化に伴い、今回、特別教室・普通教室棟の改築を行う事になった。

設計においては、生徒が学校生活を快適に過せるように、快適性と安全性を取り入れた校舎となるように計画している。本校舎は、西側の特別教室ブロック（1階図書室、化学教室、2階視聴覚教室、3階音楽教室）と東側の普通教室ブロック（12クラス）で構成し、既存管理棟、特別教室が縦列に並び、南北に走る渡り廊下がこれを繋いでいる。

施設の計画としては、床段差解消・多機能便所の充実・エレベーター等の設置によるバリアフリーに配慮した。

(3) 具志川商業高校校舎（第2期）

施設概要

所在地：うるま市みどり町
 工期：平成19年12月～平成20年12月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 3階建
 敷地面積：55,346.00㎡
 延べ面積：管理・産振棟A 2,405㎡ 管理・産振棟B 909㎡
 管理・産振棟C 535㎡ 既設産振棟改造防音 466㎡

設計主旨

コンセプト：尊敬、友情そして夢の実現、緑豊かな活気溢れる学舎
 仮設校舎を作らず、既存校舎を改修などで利用する計画とした。
 校舎改築に伴う代替教室として既存校舎を利用することを考慮し、改築校舎の配置を計画した。
 敷地内はバリアフリーとし、施設内全体を容易に移動出来るよう計画した。
 敷地の内外にある多数の樹木を生かす計画とした。
 二期に渡って行われた校舎改築の第二期目の工事である。



外観



外観

(4) 与勝高校校舎 (第2期)

施設概要

所在地：うるま市勝連平安名
 工期：平成19年9月～平成21年1月
 建物用途：センターコア東棟、高校棟
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 3階建
 敷地面積：44,998.00㎡
 延べ面積：4,063.81㎡

設計主旨

6年間の中高一貫教育のゆとりのある学校生活の中で基礎・基本の定着を図り、情報活用能力を身に付け、自らの能力・適正を正しく認識して将来の高校志の高い生徒を育成する。又、自ら課題を見つけ、自ら学び考えて解決していく資質や能力「生きる力」の育成できる施設の計画とする。

琉球の歴史と文化に誇りを持ち、旧勝連町の「きむたかの町」・旧与那城町の「あやはしの町」の理念を大切に、自然を愛する心豊かな人材育成を構築する施設づくりとして、正面玄関のモチーフを勝連城より導いた計画とする。

環境教育や物を大切にすることを育成する施設づくりを目指す。緑化コンクールで優勝した実績の庭園を最大限配慮した配置計画とする。

正しい進学観・職業観・労働観を身につけた人格の形成に努め、良き社会人として行動できる生徒を育成する施設づくりを目指す。生徒の創造性・希望を育む配置計画とする。

地域の歴史や文化を学び継承していく良き指導者として地域に根ざし、貢献できる人材育成を構築する施設づくりを目指す。学校も小さな社会の集合体であり、中学生・高校生・先生が動きやすく、学びやすい学校全体の敷地・配置計画とする。



高校棟南面



センターコア東棟東面



センターコア棟・高校棟・テニスコート



高校棟：普通教室



センターコア東棟：コンピューター室



高校棟：男子便所

(5) 美里高校屋内運動場及び武道場

施設概要

所在地：沖縄市松本
 地域・地区：第1種低層住居専用地域
 工期：平成19年10月～平成21年3月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建
 敷地面積：40,003.00㎡
 延べ面積：2,738.58㎡

設計主旨

本校では、施設のお老朽化に伴い、平成19年度から屋内運動場及び武道場の建て替えを行った。

新体育館は、1階アリーナ・2階武道場共に体育学習空間として基本的な機能の充実を図り、さらに多目的トイレ・スロープ等バリアフリーへの配慮、省エネルギー推進の考えに基づき採光・道風・換気・雨水利用による環境への配慮、耐震性の確保、安全・防犯など高等学校施設整備指針に沿った施設計画となっている。



南側外観



東側外観



エントランスホール (1F)



アリーナ

(6) 中部商業高校校舎

施設概要

所在地：宜野湾市我如古
 工期：平成19年10月～平成20年12月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 3階建
 敷地面積：40,676.00㎡
 延べ面積：1,786.71㎡

設計主旨

本校の教育目標である、新時代に対応できる調和ある人間の育成に寄与する建築を目指した。近年の多様な教育システム変更への対応のため、変更容易なプランにし、設備も近代化を考慮した。省エネの観点から、既存体育館から余剰分の雨水を配水し、トイレの洗浄に利用した。シックスクール対策や段差解消などに努め、安全性を考慮し計画した。



東側外観



渡り廊下



IT調査研究室



IT調査研究室



男子トイレ



男子トイレ

(7) 沖縄工業高校校舎

施設概要

所在地：那覇市松川
 地域・地区：第1種中高層住居専用地域
 工期：平成20年1月～平成21年2月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 5階建
 敷地面積：49,647.00㎡
 延べ面積：4,871.80㎡

設計主旨

旧校舎は、普通教室27教室・図書室・視聴覚教室及び職員室や校長室等の管理諸室からなる鉄筋コンクリート造地上4階建ての建築物で、昭和54年度に完成しているが、現行の建築基準法による耐震基準を満たしていないことから、今回、改築工事を行うこととなった。

新校舎は、旧校舎の機能以外に、進路指導室及び教育相談室等新たな管理諸室と電気室及びポンプ室の設備関連諸室を設け、また、身障者対応のトイレ及びエレベーターを設置し、バリアフリー対応の建築物となっている。

さらに、雨水の有効利用（トイレの洗浄水として中水利用）を行うために雨水槽を設けた。



北側外観



西側外観



普通教室



廊下

(8) 知念高校校舎



外観

施設概要

所在地：与那原町字与那原
 地域・地区：第1種中高層住居専用地域
 工期：平成19年10月～平成20年9月
 建物用途：学校校舎
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 3階建
 敷地面積：32,958㎡
 延べ面積：1,322.49㎡



音楽教室

設計主旨

芸術棟校舎の老朽化が著しく、機能的な要求も満たせなくなったことから、敷地内のほぼ可位置への改築工事を実施した。

本校舎は、美術・書道・コンピューター・音楽教室の芸術系教科の教室を配置し、開口部のバリアフリー化、高効率照明器具の採用、マルチ型パッケージエアコンの採用等、機能性及び維持管理コストの縮減に配慮した施設の整備を実施した。

(9) 久米島高校校舎

施設概要

所在地：久米島町字嘉手刈
 地域・地区：都市計画区域外
 工期：平成19年10月～平成21年3月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 3階建
 敷地面積：38,384.00㎡
 延べ面積：1,813.07㎡

設計主旨

解体前の校舎は、普通教室9教室と進路指導室、美術教室、書道教室からなるRC造地上3階建ての建物であり、昭和54年度に完成しているが、建物の老朽に伴い建て替え工事を行うものである。

新校舎は、従前の校舎機能以外に電気室及びポンプ室等の設備関連機能を強化するほか、身障者対応のトイレ及びエレベーターを設置し、バリアフリー化を推進する建物となっている。



南側外観



西側外観



普通教室



美術教室

5. 教育庁

(10) 宮古高校管理棟

施設概要

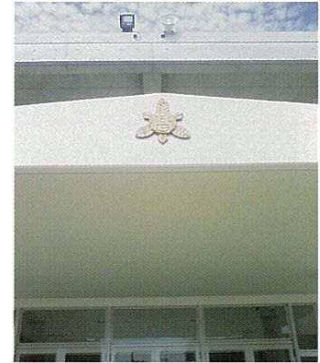
所在地：宮古島市平良字西里
工期：平成20年8月1日～平成21年3月26日
構造・階数：鉄筋コンクリート造 2階建
敷地面積：19,677.00㎡
延べ面積：1,536.40㎡

設計主旨

当施設は、経年の老朽化が著しく構造上危険な状態にあり、早急な改築が求められていた。

普通教室棟及び特別教室棟の年次的な改築を見据えつつ、既存の建物の機能を十分に発揮できる様な配置計画とした。

学校側の要望であった歴史ある正門や植栽を出来る限り保存しつつ、既設の建物とのアクセスがスムーズとなる様な配置とし、また、外構及び建物内共に、新たにバリアフリーとしての利用円滑化経路を配置し、多様な利用者に対応できるものとした。



ポーチ



昇降口



南側外観



進路指導室



東側外観